RV320およびRV325 VPNルータでの信頼できるSSL証明書の表示/追加

目的

証明書は、コンピュータまたはインターネット上のユーザIDを確認し、プライベートまたはセキュアな会話を強化するために使用されます。RV320では、自己署名またはサードパーティ認証を使用して最大50の証明書を追加できます。クライアントまたは管理者用の証明書をエクスポートし、それをPCまたはUSBに保存してからインポートできます。Secure Sockets Layer(SSL)は、Webサーバとブラウザの間に暗号化されたリンクを作成するための標準のセキュリティテクノロジーです。このリンクにより、Webサーバとブラウザの間で渡されるすべてのデータがプライベートで統合された状態を維持します。SSLは業界標準であり、顧客とのオンライントランザクションを保護するために数百万のWebサイトで使用されています。WebサーバでSSLリンクを生成するには、SSL証明書が必要です。

この記事では、RV32x VPNルータシリーズで信頼できるSSL証明書を表示および追加する方法について説明します。

該当するデバイス

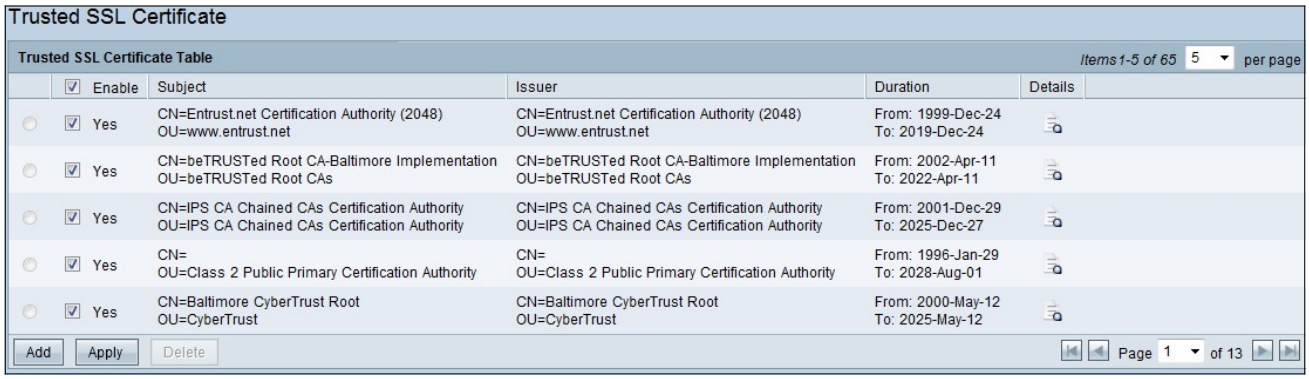
- RV320デュアルWAN VPNルータ
- RV325ギガビットデュアルWAN VPNルータ

[Software Version]

- v1.0.1.17

信頼できるSSL証明書

ステップ1:Web構成ユーティリティにログインし、**[Certificate Management] > [Trusted SSL Certificate]を選択します。**「信頼できる*SSL*」*ページ*が開きます。



「信頼できる*SSL証明書*」*ページ*には、次のフィールドがあります。

- Enable：証明書が有効か無効かを示します。
- Issuer：証明書を発行した発行者に関する情報を提供します
- Subject：証明書の発行先を示します。

・ 期間：証明書の有効期限が表示されます。この日付を超えた場合、Webサイトのセキュリティは保証されません。

・ Details：証明書の発行者、証明書のシリアル番号、および有効期限に関するすべての詳細がCAサービスによって生成されます。この情報は、証明書署名要求(CSR)の生成が作成され、検証のためにCAサービスに送信されるときに使用されます

ステップ2:[Enable] チェックボックスをクリックして、特定のSSL証明書を有効にします。

ステップ3:[Add]をクリックして、PCまたはUSBから新しい証明書を取得します。

・ Import From PC — PCから証明書を見つけてデバイスにインポートできます

・ Import From USB – デバイスに接続されているUSBから、証明書をインポートすることもできます。

ステップ3:[Browse] をクリックして、PCからCA証明書を見つけます。

ステップ4:[Save]をクリックして、信頼できるSSL証明書テーブルに証明書を追加します。